

待降節第三主日

2017.12.17

ヨハネ 1・6-8,19-28

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高神父

待降節のこの時期、祭壇の前に特別に飾られた四本のローソクに今日は三つの灯りが灯され、クリスマスも間近かになって来たことを告げています。教会は毎年このようにして、静かな、しかし、次第にあふれ、みなぎって行く喜びのうちにクリスマスを迎えます。待降節のこのローソクの灯火は、クリスマスに向けてわたしたちの心に灯されるべき、喜びに満ちた希望の光のシンボルです。

わたしたちがクリスマスにその誕生を祝う、救い主イエス・キリストは、すでに、わたしたちの中にいてくださるのです。こうしてミサに参加するたびに、わたしたちは、わたしたちの中に救い主イエス・キリストを迎え、イエス・キリストと出会い、その教えに耳を傾け、イエス・キリストのいのちのパンに養われているのです。そのミサの中で、クリスマスを前に今年も待降節のローソクが灯されているのです。このことの意味をわたしたちは深く受け止めなければなりません。

今日の福音の中で、洗礼者ヨハネは救い主イエス・キリストを指し示して、「あなたがたの中には、あなたがたの知らない方がおられる。」と証しています。洗礼者ヨハネのこのことばが、もしもそのまま、今日もこのミサに集うわたしたちに向けられているとするなら、そして、ここに集うわたしたちが、このことばの前に頭を垂れて一言の抗弁も出来ないとするなら、それは、わたしたち以上に、このミサの中にもともにいてくださるわたしたちの救い主イエスにとって、限りなく悲しいことであるにちがいません。

わたしたちの救い主イエス・キリストはわたしたちをここに呼び集めるために、ベツレヘムの馬屋にお生まれになったのです。わたしたちが生きるこの世界と、その中に生きるわたしたち一人ひとりの人生は、決して神に見捨てられているのではないことをわたしたちに告げるために、神ご自身が人となってわたしたちの世界に来てくださったのです。そのことを信じたわたしたちをここに呼び集めるために、クリスマスはあったのです。

待降節のミサの度ごとに、一本ずつ灯されて、光を増してゆく待降節のローソクの灯りは、わたしたちの悔い改めのしるしでもあります。その灯火を灯し

続けるために炎の下から滴る蠟のしずくは、わたしたちの悔い改めの涙の象徴です。悔い改めの涙なしに、わたしたちは、わたしたちの中に灯されたクリスマスの希望の光を灯し続けることは出来ません。何故なら、この世の生活を生きるわたしたちは、クリスマスの夜わたしたちの中にお生まれになったお方を、いともたやすく見失ってしまう誘惑にさらされているからです。クリスマスの夜、わたしたちの中にお生まれになったお方は、今このミサの中にいてくださり、そのいのちをわたしたちに分け与えられようとしておられることに気付こうとする気力が萎えてしまいがちだからです。そのありがたさが、わたしたちの心に伝わってこなくなってしまうがちだからです。もしそうであるなら、このミサの中にわたしたちとともにいてくださる、わたしたちの救い主イエス・キリストは、洗礼者のことばのとおり、再び、わたしたちにとって、わたしたちのうちにおられる見知らぬ人となってしまおうのです。そのようなことがあってよいはずがありません。そのことに気づいて悔い改めの涙を流すことなしに、今年もクリスマスの祝いがわたしたちの中に灯そうとしている希望の光は、一夜限りでわたしたちのうちで消えてしまおうのです。待降節のローソクはその身を細らせながら、わたしたちにこのように訴えかけているのです。

そのように受け止めるなら、待降節のローソクの灯火は、今日の福音に語られている、洗礼者ヨハネとも重なるように思えます。待降節のローソクはクリスマスになれば片付けられてしまいます。クリスマスの夜に灯される喜びに満ちた圧倒的な光の中で、待降節のローソクはもはや役目を終えるのです。洗礼者ヨハネもそのようにして、彼の後から来られる救い主のもたらす光を指し示しつつ、その役目を終えたのです。

待降節のローソクが、そして今日の福音の洗礼者ヨハネが、その身を犠牲にしてわたしたち訴えていることは、救い主イエス・キリストがその誕生によってわたしたちにもたらしてくださった救いの恵みに、わたしたちが新たな心で向き合うことです。

わたしたちが新たな心でクリスマスの恵みに向き合うことが出来る時、わたしたちのこの世界の中に、そして、その中に生きるわたしたちの日々の中に、わたしたちの救い主イエス・キリストがもたらしてくださった、わたしたちの闇を照らす真の光を新たな喜びをもって見出すことが出来るでしょう。迎えるクリスマスが、そのような新たなクリスマスとなるよう、待降節のローソクの光に目を向けつつ、この待降節のミサをおささげいたしましょう。